



日本フィル & サントリーホール

にじくら

トークと笑顔と、音楽と

第3回

2024年2月2日(金)

Japan Philharmonic Orchestra and Suntory Hall

Weekday Matinee Concert Series No. 3



第3回

Japan Philharmonic Orchestra and Suntory Hall
Weekday Matinee Concert Series No. 3

指揮:大井剛史
Takeshi Ooi, Conductor

ピアノ:小林愛実
Aimi Kobayashi, Piano

ナビゲーター:高橋克典
Katsunori Takahashi, Navigator

日本フィルハーモニー交響楽団
Japan Philharmonic Orchestra

コンサートマスター:木野雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Masayuki Kino, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ:門脇大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]
Hiroki Kadowaki, JPO Solo Violoncello

日時: 2024年2月2日(金) 14:00開演 Friday, February 2, 2024 at 14:00
会場: サントリーホール 大ホール Suntory Hall, Main Hall
主催: 日本フィルハーモニー交響楽団 / サントリーホール

13:40～ オルガン・プレコンサート

J. S. バッハ:カンタータ第147番『心と口と行いと生活で』BWV 147 より
第10曲「主よ、人の望みの喜びよ」

Johann Sebastian Bach: No. 10 "Jesus bleibet meine Freude"
from *Herz und Mund und Tat und Leben*, BWV 147

ドビュッシー:『小組曲』より 第4曲「バレエ」

Claude Debussy: No. 4 "Ballet" from *Petite Suite*

サン＝サーンス:前奏曲とフーガ ハ長調 作品109-3 より 前奏曲
Camille Saint-Saëns: Prelude from Prelude and Fugue in C Major, Op. 109, No. 3

オルガン:森 亮子
Ryoko Mori, Organ

フェリス女学院大学オルガン専攻卒、東京藝術大学にてオルガンを研鑽。
メルボルンにて多数の教会でオルガニストを務める。神田スタジオM Garten代表。

モーツァルト:ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 K. 271「ジュノム」
Wolfgang Amadeus Mozart: Piano Concerto No. 9 in E-flat Major, K. 271, "Jeunehomme"

I. Allegro
II. Andantino
III. Rondeau: Presto

ピアノ:小林愛実 Aimi Kobayashi, Piano

————— 休憩 Intermission —————

ドビュッシー(カプレ 編曲):『子供の領分』

Claude Debussy (arr. André Caplet): *Children's Corner*

- I. Doctor Gradus ad Parnassum (グラドウス・アド・パルナッスム博士)
II. Jimbo's Lullaby (象の子守歌)
III. Serenade for the Doll (人形のセレナード)
IV. The Snow is Dancing (雪は踊る)
V. The Little Shepherd (小さな羊飼い)
VI. Golliwog's Cake-Walk (ゴリウオーグのケーキウォーク)

フォーレ(ラボー 編曲):組曲『ドリー』作品56

Gabriel Fauré (arr. Henri Rabaud): *Dolly Suite*, Op. 56

- I. Berceuse (子守歌)
II. Mi-a-ou (ミ-ア-ウ)
III. Le jardin de Dolly (ドリーの庭)
IV. Kitty-Valse (キティ・ワルツ)
V. Tendresse (かわいらしさ)
VI. Le pas espagnol (スペイン風の踊り)



©Ayane Shindo

指揮：大井剛史

Takeshi Ooi, Conductor

東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。2024年4月より同楽団の常任指揮者に就任予定。東京藝術大学指揮科卒業、同大学院指揮専攻修了。仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者、山形交響楽団正指揮者を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮。レパートリーは極めて広く、オーソドックスな管弦楽／吹奏楽の作品を中心として、現代音楽の初演、ゲーム音楽、映画音楽、ポップスなどありとあらゆる音楽を手がける。トーク付きのコンサート、また子供のためのコンサートなどを通じて、より多くの方々に音楽に親しんでいただくことに情熱を注いでいる。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



©Makoto Nakagawa

ピアノ：小林愛実

Aimi Kobayashi, Piano

2021年10月、第18回ショパン国際ピアノコンクール第4位入賞。7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たした。数多くの国に招かれ、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラなど国内外の多数のオーケストラと共演。10年に14歳でEMI ClassicsよりCDデビューし、サントリーホールで日本人最年少となるリサイタルを開催した。15年10月、第17回ショパン国際ピアノコンクールではファイナリストとなった。18年にはワーナークラシックスとインターナショナル契約し、『ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く』をリリース。最新CDは、『ショパン:前奏曲集 他』。フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積んだ。2022年3月、第31回出光音楽賞受賞。

**ナビゲーター：高橋克典**

Katsunori Takahashi, Navigator

神奈川県横浜市生まれ。1993年『抱きしめたい』で歌手デビュー。俳優として「サラリーマン金太郎」「特命係長 只野仁」などのヒット作を得る。最近では2020年大河ドラマ「麒麟がくる」、22年NHK「正直不動産」、22年秋NHK朝ドラ「舞いあがれ」にはヒロインの父“岩倉浩太”役として出演。23年1月クール 関西テレビ「罍の戦争」、7月クールテレビ朝日系「警部補ダイマジン」、10月クールテレビ東京系「ハイエナ」、24年1月クール NHK「正直不動産2」、フジテレビ系「大奥」に出演。出演映画として22年5月『20歳のソウル』、22年8月『バイオレンスアクション』が公開。BSテレビ東京「ワタシが日本に住む理由」レギュラー出演、bayfm78「GROOVIN' ON THE ROAD」ではメインパーソナリティとしてレギュラー出演中。



©Koji Iida

日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創立。「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ(地域活動)」という三つの柱に加え、2011年の東日本大震災以来「被災地に音楽を」届ける活動を継続している。これらの活動は高い評価を受け、第16回後藤新平賞を受賞。23年9月より首席指揮者にカーチン・ウォンを迎え、桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に年間150回を超えるオーケストラ公演を行う。26年の70周年に向け、芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。1994年に杉並区と友好提携を結び、本拠地とする。毎週水曜日22時54分～23時、BS朝日「Welcomeクラシック」出演中。

公式ホームページ japanphil.or.jp 公式X(Twitter)@Japanphil

■ モーツァルト：ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 K. 271「ジュノム」

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756～91)の9番目のピアノ協奏曲は、1777年に故郷であるザルツブルクにて作曲された。モーツァルトは全部で27曲のピアノ協奏曲を残しているとされるが、この曲はそれまでの協奏曲とは一線を画す飛躍を遂げ、また独創性をもった筆致で書かれている。

愛称の「ジュノム」は、しばらく謎めいた存在だったが、のちの研究でモーツァルトの友人だったフランスの舞踏家ノヴェールの娘で、ピアニストのヴィクトワール・ジュナミのことだと判明した。彼女がザルツブルクを訪れた際に知り合い、モーツァルトは少し年上の彼女から大いに刺激を受けたようだ。またモーツァルト自身による数多くのカデンツァが残されている点からも、本人も自信をもって頻繁に演奏した様子が伺える。

曲は急―緩―急の3楽章からなり、第1楽章アレグロの冒頭から驚きをもたらす。2小節目にはピアノ・ソロが登場する、こんな例はそれまでも、以後ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番まで見られないのではないか。またピアノが伴奏にまわるなど、独奏と管弦楽の扱いに平等性が生まれている。第2楽章のアンダンティーノは短調の中間楽章で、入念に装飾された独奏の旋律が美しい。フィナーレ楽章は一変して変ホ長調のロンド・プレスト。ユーモアを備えたロンド主題が明るい。中間部にメヌエットが挿入されているのも新鮮だ。

■ ドビュッシー(カブレ 編曲)：『子供の領分』

クロード・ドビュッシー(1862～1918)の作曲技法は絵画の“印象派”になぞらえられ、独特な和声理論や東洋的な5音音階・全音音階を取り入れた繊細な色彩感をたたえた音楽は、後の作曲家たちに多大な影響を与えた。

私生活では利他的で奔放だった彼を変えたのは、二人目の妻エンマ・バルダックとの間に生まれた一人娘クロード＝エンマである。愛くるしく才能ある彼女をドビュッシーはシュウシュウという愛称で呼び、溺愛した。この『子供の領分』は娘が3歳を迎えた1908年にドビュッシーがプレゼントしたピアノ曲で、楽譜には「以下に続く曲への父親の優しい言い訳をそえて、大事なかわいいシュウシュウへ」と献辞があり、娘への無限の愛が感じられる。

曲は6曲からなり、ピアノの練習に退屈する子供の様子、愛用のぬいぐるみの象(ジャンボと

いう名前)や人形や羊飼いのおもちゃ、生まれた日に降っていた雪…と、娘の日常をほうふつとさせる情景が描かれ、父親の優しいまなざしを感じさせる。

これほどまで愛されたシュウシュウだが、ドビュッシーが1918年に55歳で亡くなると、後を追うように1年後に14歳でこの世を去り、ドビュッシーの血筋は絶えた。しかし彼女の存在はドビュッシーの数々の名作をこの世にもたらしたのである。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 第1曲:グラドゥス・アド・バルナッスム博士 | 第2曲:象の子守歌 |
| 第3曲:人形のセレナード | 第4曲:雪は踊る |
| 第5曲:小さな羊飼いの | 第6曲:ゴリウォーグのケーキウォーク |

■ フォーレ(ラポー 編曲)：組曲『ドリー』作品56

ガブリエル・フォーレ(1845～1924)はパリ音楽院教授・同院長などを歴任し、1909年には独立音楽協会の会長を引き受けるなどフランス近代音楽成立の準備段階に貢献した。その作風は来るべき“印象派”の時代を予感させ、外部への繊細な感覚と内省的な表現に長けており、特に歌曲、ピアノ曲、室内楽曲に傑作を残した。

パリ上流階級ではすぐれた芸術家を自宅に招き、公開に先立って作品を鑑賞したり、演奏を聴いたりする“サロン”が盛んだった。フォーレはこのサロンで活躍し、後にドビュッシーの二人目の妻となるエンマ・バルダックと知り合う。彼女にエレヌという娘が生まれた際、その誕生祝いにピアノ連弾曲を作曲して贈ったのがこの組曲『ドリー』である。“ドリー”とはエレヌの愛称であり、フォーレは彼女の誕生日を祝って毎年1曲ずつ書き続けていった。子供と子供をとりまく世界からインスピレーションを得た作品としては、前述の『子供の領分』やシューマンの『子供の情景』と同様に多くの人々の共感を得て、オーケストラだけでなくさまざまな楽器に編曲されて広く愛されている。

なお、エンマ・バルダックはフォーレの恋人だったという説も根強く、そうなると『子供の領分』と『ドリー』はまさに姉妹作といえる。どちらの曲も最初は家庭にある楽器・ピアノのために書かれており、子供に捧げた父親の愛情が感じられる。

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 第1曲:子守歌 | 第2曲:ミ-ア-ウ | 第3曲:ドリーの庭 |
| 第4曲:キティ・ワルツ | 第5曲:かわいらしさ | 第6曲:スペイン風の踊り |

有料オンライン配信のお知らせ

本日のコンサートのライブ配信映像を、リピート配信でご覧いただけます。
お好きな時間と場所で何度でもお楽しみください。

視聴券 ¥2,200

視聴期間 2024年2月3日(土)14時～8日(木)23時

※デジタルサントリーホール(サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB／チケットびあ)、イープラスでの取り扱い



デジタルサントリーホール配信公演ページの「WATCH」ボタンより、視聴券購入画面にお進みいただけます。

チケット優待サービス

ご利用当日のサントリーホールのチケット(半券)をアークヒルズのサービス加盟店舗でお見せいただくと、割引や限定メニューなどおトクな優待をご利用いただけます。



平日2時のクラシックコンサート

日本フィルサントリーホール

にじくら

トークと笑顔と、音楽と

第4回

指揮: 太田 弦

©Tad Ueda

第5回

指揮: 広上淳一

©Masashi Tomitori

第6回

指揮: 園田隆一郎

©Fabio Parezan

2024年5月2日(木)

チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第3番
チャイコフスキー(上原彩子 編曲):
「くるみ割り人形」より「花のワルツ」
モーツァルト: 交響曲第41番「ジュピター」

2024年9月25日(水)

モーツァルト:
ヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」
大河ドラマ&映像作品セレクション

2025年1月29日(水)

ロドリゴ: 『アランフェス協奏曲』
サン＝サーンス:
交響曲第3番「オルガン付き」

©Takashi Okamoto
ヴァイオリン: 前橋汀子

©Kazumi Kuuchi
ギター: 村治佳織

3公演セット券
好評発売中!

S席¥14,400
A席¥ 9,900

1回券で買うよりお得!

詳しくはHPを
ご覧ください▼

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



創立指揮者 渡邊 暁雄



SUNTORY HALL